

沖縄の地の利を活かす！ 医療機器開発ノウハウ オンラインセミナー



2020年

11月4日(水)



13:00 ~ 15:00

Zoom Webinarによる
Live配信

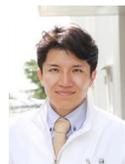
参加費無料！



池野 文昭 氏



高谷 彰之 氏



清水 雄介 氏



八木 雅和 氏



西内 大祐 氏

時間	演題	演者
13:00-13:30 / 30分	グローバルから見た 日本の医療機器産業と将来への期待	池野 文昭 (JBD、スタンフォード大学)
13:30-13:50 / 20分	医療機器開発のプロセス概要と QMSの重要性	高谷 彰之 (株式会社イフジェイ 代表取締役)
13:50-14:10 / 20分	医師主導医療機器開発の実例	清水 雄介 (琉球大学 医学研究科形成外科学講座教授)
14:10-14:20 / 10分	休憩	
14:20-14:40 / 20分	価値主導型医療機器開発 ～バイオデザイン手法の要諦～	八木 雅和 (JBD、大阪大学 医学研究科特任准教授)
14:40-15:00 / 30分	バイオデザインの企業内活用事例	西内 大祐 (JBD、テルモ株式会社)

※JBD：(一社)日本バイオデザイン学会

受講対象 県内ものづくり企業、医療機器開発に従事、若しくは参入を検討している企業、アカデミア、医療従事者、研究者 等

参加申込 下記 Web申込フォームよりお申込みください。
<https://forms.gle/n4pa6AJTgufGRba66>



定員 事前申込制

100名 ※定員に達し次第
申込締切とさせて
頂きます

お問い合わせ

E-mail : md_okinawa@grancell.co.jp

担当：株式会社Grancell 人材育成プログラム窓口

主催 医療機器産業沖縄コンソーシアム

セミナー概要

沖縄県には、アジアを始めとする諸外国へ地理的利点を活かした様々なビジネスが多く秘められています。その中でも近年、世界的な医療需要の高まりにおいて県は医療工学技術研究の機能拡充・機器開発などに注力しています。新たな可能性を秘めた「医療機器開発ビジネス」という好機に際し、医療機器開発の発展に向けて沖縄県内の企業・人材の掘り起こしを図るべく、セミナーの開催に至りました。

本セミナーでは「医療機器開発ビジネス」への理解を深めていただくために、(一社)日本バイオデザイン学会協力のもと、医療機器開発の第一線で活躍する講師陣による講演および、米スタンフォード大学が2001年に立ち上げた「バイオデザイン(デザイン思考をもとにした医療機器イノベーションを牽引する人材育成プログラム)」に関する講演など、医療機器開発を様々な視点から分かりやすく解説いたします。

講師紹介

池野 文昭氏

(スタンフォード大学、医師、日本バイオデザイン学会 理事)

1992年、自治医科大学卒業。2001年からスタンフォード大学循環器科での研究を開始し、以後、国内外で多くの医療機器ベンチャー及び大手医療機器メーカーの開発に関与。2014年から、スタンフォード大学にてバイオデザイン指導者として教鞭をとる傍ら、日本版バイオデザインの立ち上げに深く関与してきた。これまで沖縄県内で開催したバイオデザインに関するセミナー、ワークショップにも携わってきた。



高谷 彰之氏

(株式会社イフジェイおよび株式会社ニューロシューティカルズ沖縄 代表取締役)

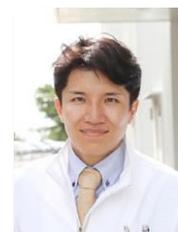


1994年、テルモ株式会社入社。カテーテル事業の責任者・北京総経理を歴任し、カテーテル事業の売上を2億円('00年)から60億円('09年)へ伸ばし、中国販売代理店との共働体制作りなどを行う。2010年にテルモ退社後、株式会社イフジェイを設立。日本の医療機器メーカーを対象とした中国進出コンサルティングと、日中医療学術交流を行っている。2013年に中国・北京にて益互捷(北京)貿易有限公司を設立。今後の医療機器世界需要を見込み、2013年株式会社沖縄医療機器開発事業を設立(県内初、唯一の医療機器製造業登録)。2019年4月に株式会社沖縄医療機器開発事業は株式会社ニューロシューティカルズの100%子会社となり、株式会社ニューロシューティカルズ沖縄へ社名変更した。

清水 雄介氏

(琉球大学大学院医学研究科 形成外科学講座 教授)

1998年、慶應義塾大学医学部卒業、2010年慶應義塾大学医学部大学院修了。慶應義塾大学医学部形成外科助教、講師、准教授を経て、2015年琉球大学病院に形成外科が開設され、特命教授に着任。2018年琉球大学医学研究科形成外科学講座の開設により、主任教授に着任。海外の開発途上国での手術経験が基となり医療機器開発にも携わり、安井株式会社と共同でコードレスLED搭載の鉤「コウブライト」を開発。2016年11月にクラスIの医療機器として販売を開始、同製品は2018年度グッドデザイン賞を受賞。



八木 雅和氏

(大阪大学大学院医学系研究科 特任准教授, ジャパンバイオデザイン プログラムダイレクター)



2003年、東京大学大学院工学系研究科電子工学科にて博士課程を修了後、大阪大学大学院歯学研究所助手、歯学部附属病院講師を経て、2008年に臨床医工学融合研究教育センター特任准教授に着任。生体の数理モデリング、および、専門家の知識を実装した意思決定支援システムに関する研究に携わる。2014年スタンフォード大学のバイオデザインGlobal Faculty研修を修了。2015年ジャパンバイオデザイン・フェローシッププログラムの創始よりプログラムダイレクターとして運営を主導。2017年から行われている沖縄県医療機器人材育成プログラムでも講師を務めている。

西内 大祐氏

(テルモ株式会社、ジャパンバイオデザイン共同ダイレクター)

2002年、東京大学大学院工学系研究科マテリアル工学科(修士)卒業後、テルモ株式会社に入社。2016年、スタンフォード大学バイオデザインGlobal Faculty研修を修了。同社にて研究開発企画業務に携わると同時に、ジャパンバイオデザイン共同ダイレクターとして、フェローシップに於ける指導に加え、社内外の様々なバイオデザインセミナー、講演会、ワークショップ等で指導を行っている。これまでの沖縄県医療機器人材育成プログラムでも講師を務めている。



<医療機器産業沖縄コンソーシアム参画企業 ※50音順>

(株)イフジェイ / (株)Grancell / (一社)トロピカルテクノプラス / (株)ニューロシューティカルズ沖縄

琉球大学医学部/琉球リハビリテーション学院